

彼方小だより

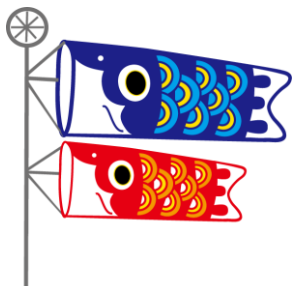
家庭数配布

富田林市立彼方小学校

令和3年5月号

「またまた 緊急事態です・・・」

校長 藤井 貞彦



4月25日、3度目の緊急事態宣言が発出されました。大阪府ではコロナウィルスの新規感染者が連日のように1,000人を超え、医療機関はパンク状態だと聞きます。本当に先の見えない厳しい状況が続いています。授業参観、懇談会、校外学習などの行事が実施できなくなったり、学習活動の制限が増えたり、学校生活にも大きな影響が出ています。

先日、緊急事態宣言前ではありましたが、3・4年生の校外学習の延期を決定し、教室まで子どもたちに伝えに行きました。以下は、その時の様子をです。

担任の先生の「校長先生から皆さんにお話があります。」との言葉で私が教室に入ると、いつもと違う様子を感じたのか、「校長先生やめてー」、「言わんといてー」、「あかーん・・・」というようなつぶやきが、あちらこちらから聞こえてきました。

「今、大阪は緊急事態宣言を出さないといけないというくらい大変なことになっています。」私が話し始めると水を打ったように教室は静まり返りました。

「みんなが楽しみにしていた遠足ですが、今の状況が良くなるまで延期します。」悔しそうに下を向いている子、涙ぐんでいる子、耳を押さえている子・・・楽しみにしていた遠足に行けなくなったことを一生懸命に受け止めている様子でした。

「この状況が良くなるように、みんなで一緒に頑張っていこう!」「良くなったら、必ずみんなで遠足に行こうね。」と声をかけると、「はい!」という力強い返事が返ってきました。

その後、自分たちでできる事(「うがい・手洗いの励行」「マスクの着用」等)を頑張っていくことを確認して、教室を出ようとなりました。その時、一人の子がつぶやきました「私な、多分あかんやろうと思っててん・・・」すると、「うん、ぼくも・・・」、「しゃーないよな・・・」つぶやきは、たちまち教室中に広がっていきました。

「こんな小さな子どもたちが、理不尽な状況を文句ひとつ言わず、きちんと受け止めている。」改めて身の引き締まる思いで教室をあとにしました。

今回の件では、「理不尽なことに不平不満を言うのではなく、前向きに自分のやるべき事をする」という大切なことを、改めて子どもたちから教えてもらった気がします。本校でも、制約は多いですが、できないことを嘆くのではなく、できそうなことから積極的に進めていきます。先日はタブレット端末の持ち帰りの試行実施に取り組みました。ご家庭でもご協力いただき、ありがとうございました。この成果や反省を今後に活かしていきたいと思います。



明日から、GWに入ります。(もうすでに始まっていましたね・・・)この1ヶ月、子どもたちは新しい環境の中で一生懸命頑張ってきたと思います。自粛要請で外出もままならないですが、心と体をゆっくり癒やしてもらえたらと思います。連休明けに子どもたちの明るい笑顔を見られることを楽しみにしています。